



検査・処置・手術安全部会

2022 年度活動報告

2022 年度検討テーマ

PSP 会員病院のニーズや社会情勢などを踏まえ、毎年「検査」「処置」「手術」に関連したテーマを選び、有効な対策について検討しています。2022 年度は昨年度に引き続き手術部門からの引継ぎや情報伝達に関する意識づけや取り組み方を検討しました。また、転倒・転落予防については患者参加の工夫について PSP 会員病院の工夫を募集します。

部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎=部会長、○=副部会長

五十嵐 裕章	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院
粕谷 敦	豊田地域医療センター
亀森 康子	自治医科大学附属 さいたま医療センター
萱島 道徳	公益社団法人 日本臨床工学技士会
菊地 龍明○	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
黒川 美知代	武蔵野赤十字病院
西條 文人	東北大学病院
佐々木 庸浩	医療法人社団愛友会 伊奈病院
長谷川 隆一◎	獨協医科大学埼玉医療センター
安田 あゆ子	藤田医科大学病院

活動報告

セミナーの実施

- ・第1回セミナー 9月24日開催（オンラインセミナー）
「Hand-off 手術部門からの引き継ぎ・情報伝達を考える」
>[開催報告](#)
- ・第2回セミナー 2月23日開催（オンラインセミナー）
「Hand-off 手術部門からの引き継ぎ・情報伝達を考える」
>[開催報告](#)

転倒・転落予防のための患者参加を促す工夫募集

転倒・転落予防のための患者参加を促す工夫を募集。
>[募集案内](#)

成果・発表内容等

- ・[ハンドオフに関する講義動画](#)を公開
- ・セミナー参加施設対象「オンライン個別相談会」の開催
- ・[教育テキスト「処置時の鎮静 第2版」\(電子版\)](#)を公開

総括

検査・処置・手術安全部会は臨床現場の問題を幅広く取り上げ、解決につながる方策を検討し会員病院に向けて発信している。今年度も引き続き手術室と病棟の間の「ハンドオフ（引き継ぎ）」を中心に取り組んだ。引き継ぎ業務をプロセスフローチャートや標準作業手順書を用いて見える化し改善に繋げられるよう、オンラインのグループワーク形式のセミナーを開催した。さらにセミナー後の参加施設の改善状況をモニタリングし、問題があればオンラインで個別に相談できるフォローアップ体制を整えた。これまで2施設から相談があり、それぞれが抱える問題点について議論できた。参加施設の今後の改善活動に期待したい。一方今年度の「転倒・転落予防」への取り組みは患者参加の視点に着目した。現在各施設で行っている転倒・転落予防への患者参加の取り組み（啓発ポスターやパンフレット、ビデオなど）を募集しており、会員病院で共有できるよう準備しているのは是非応募頂きたい。
(部会長・長谷川 隆一)